

授業科目 義肢実習III（大腿義足実習）

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢	
東江 由起夫、月城 慶一、加藤 博務		開講時期	後期	必修・選択	必修	
		単位数	4	時間数	180	
【概要・一般目標：G10】						
安全で適合した大腿義足を製作するために、カルテの記入方法、切断端の観察方法、切断端の評価方法、採寸採型技術、義足の組み立て技術、義足部品の種類や機能、ソケットの適合技術、アライメントの設定方法等の基礎的な知識や技術について、実際の大腿義足の製作を通して体得する。						
【学習目標・行動目標：SB0】						
1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。						
2. 大腿切断者とコミュニケーションを図り、義足の処方及び製作に必要な情報を聞き取ることができる。						
3. 義足の処方及び製作に必要な断端の情報、評価方法を実践し、カルテへの記入できる。						
4. 採寸および採型、陽性モデルの修正を行なうことができる。						
5. 大腿義足の部品の機能を理解し、適切に扱うことができる。						
6. 大腿義足を組み立て、ベンチアライメントの設定ができる。						
7. 大腿義足を適切に装着し、ソケットの評価とアライメントの評価が実践できる。						
8. 大腿義足の採寸採型から完成までの行程を理解し、大腿義足の価格構成について説明できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）				1	説明
2	カルテ作成、切断者の評価、情報の記入				2, 3	実習
3	採寸・採型、陽性モデル作成				3, 4	実習
4	陽性モデル修正				4	実習
5	チェックソケットの成形とトリミング				6	実習
6	大腿義足部品（膝継手、足部等）の調整方法				5	実習
7	チェックソケットの埋め込みと基準線の設定				6	実習
8	義足の組み立てとアライメントの設定				5, 6	実習
9	ライナーを利用した大腿義足ソケットの製作				1～5	実習
10	ライナーを利用した大腿義足ソケットの適合評価				6～8	実習
11	教員仮合わせ：1回目（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整 DEMO）				7, 8	実習
12	学生仮合わせ：1回目（〃）				7, 8	実習（評価）
13	教員仮合わせ：2回目（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整 復習）				7, 8	実習
14	学生仮合わせ：2回目（〃）				7, 8	実習（評価）
15	実習（復習 ソケット適合、アライメント、義足部品の調整）				6, 7, 8	
16	実習（最近の大腿義足部品）				6, 8	
17	まとめ					
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		義肢学 日本義肢装具学会監修		澤村誠志編、鋤園栄一ほか 監修	医歯薬出版	1988
参考書		切断と義肢		澤村誠志	医歯薬出版	1999
その他の資料						
【評価方法】			【履修上の留意点】			
適合評価50％、カルテ評価50％			欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。その際、遅刻2回で1回の欠席とする。 1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する。			